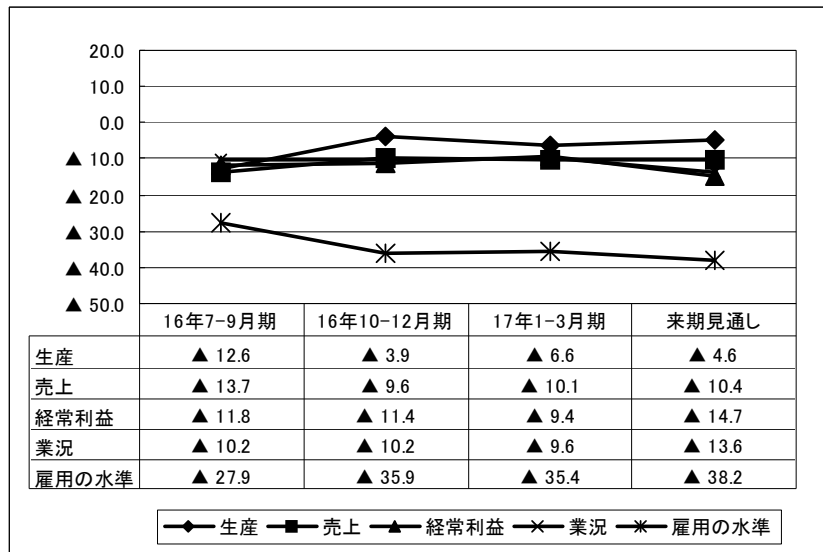


# 景況調査（平成 29 年 1 月～3 月期）の結果について

県内景況を把握するため四半期ごとに企業サイドの景況感を調査する「企業調査」と個人消費サイドの景況感を調査する「景気調査」を実施し、「景況調査」として結果をとりまとめています。

## ■ 企業調査

### 1 結果概要



#### (1) 今期（平成 29 年 1 月～3 月）の県内企業の景況（前期（平成 28 年 10 月～12 月）比較）

- ・ 生産、売上の各 DI：マイナス幅がわずかに拡大した。
- ・ 経常利益、業況の各 DI：マイナス幅がわずかに縮小した。
- ・ 雇用の水準 DI：マイナス幅が縮小し、不足感がわずかに弱まった。

#### (2) 規模別

- ・ 大企業：生産 DI はプラス幅が縮小し、売上 DI はプラスからマイナスに転じた。一方、経常利益 DI はマイナスからプラスに転じ、業況 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ 中小企業：ほぼ横ばいながら、経常利益 DI はマイナス幅がわずかに縮小し、生産、売上、業況の各 DI はマイナス幅がわずかに拡大した。

#### (3) 業種別

- ・ 製造業：生産、売上の各 DI はマイナス幅が拡大し、経常利益、業況の各 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ 建設業：売上、経常利益、業況の各 DI はプラスからマイナスに転じた。
- ・ 卸売業：売上、経常利益、業況の各 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ 小売業：業況 DI はマイナス幅がわずかに拡大したが、売上、経常利益の各 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ サービス業：売上、業況の各 DI はマイナス幅がわずかに縮小したが、経常利益 DI はマイナス幅が拡大した。

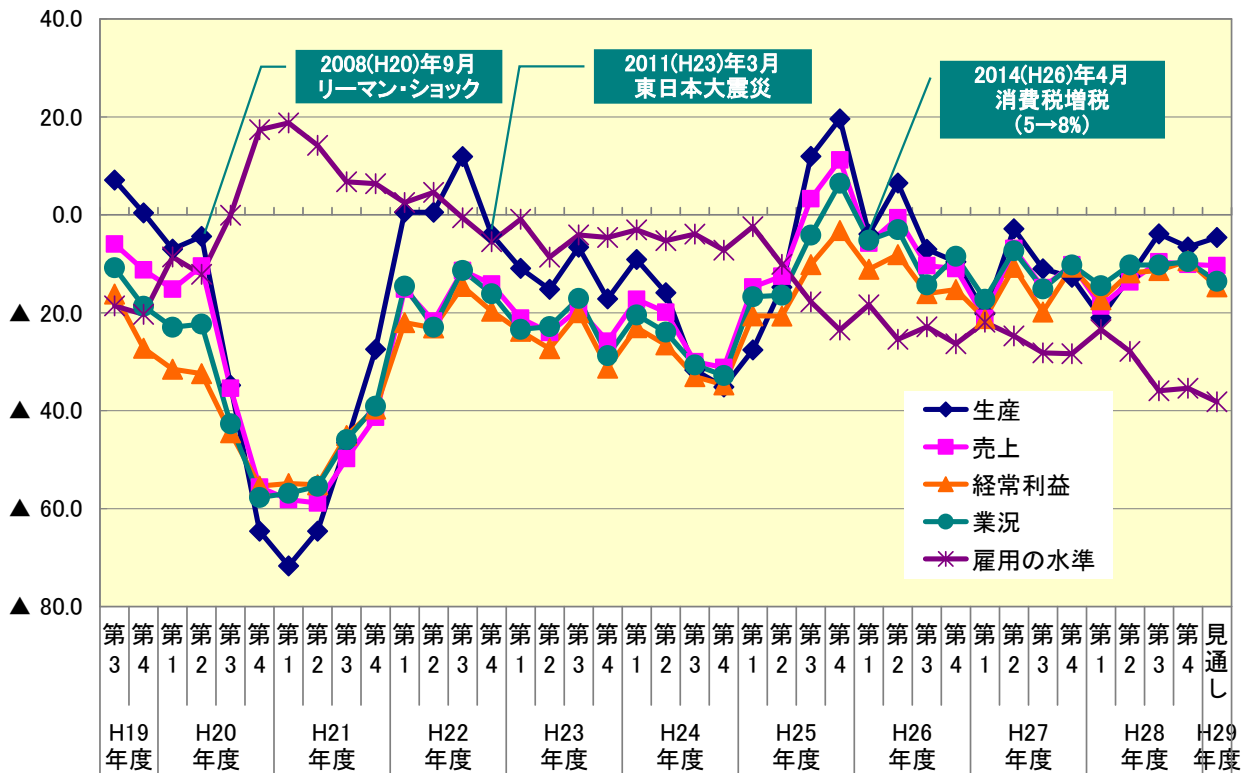
#### (4) 地域別

- ・ 大津地域：業況 DI はマイナスからプラスに転じた。
- ・ 南部地域、東近江地域：業況 DI はマイナス幅が縮小した。
- ・ 甲賀地域、湖東地域、湖北地域、高島地域：業況 DI はマイナス幅が拡大した。

#### (5) 来期（平成 29 年 4 月～6 月）の見通し

- ・ 生産 DI：マイナス幅が縮小する見通し。
- ・ 売上、経常利益、業況の各 DI：マイナス幅が拡大する見通し。
- ・ 雇用の水準 DI：マイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

DI の推移：平成 19 年度第 3 四半期～平成 28 年度第 4 四半期



## 2 調査概要

- ① 調査期間…………… 平成 29 年 1 月～3 月
- ② 調査客体…………… 県内の事業所
- ③ 調査方法…………… 郵送アンケートおよび訪問によるヒアリング調査

※本調査での DI (ディフュージョン・インデックス) :

「増加 (好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少 (悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値。

生産 DI、売上 DI は前年同期と比較した「増加－減少」、経常利益 DI、業況 DI は前年同期と比較した「好転－悪化」、雇用の水準 DI は今期水準の「過剰－不足」の軸を用いて算出。

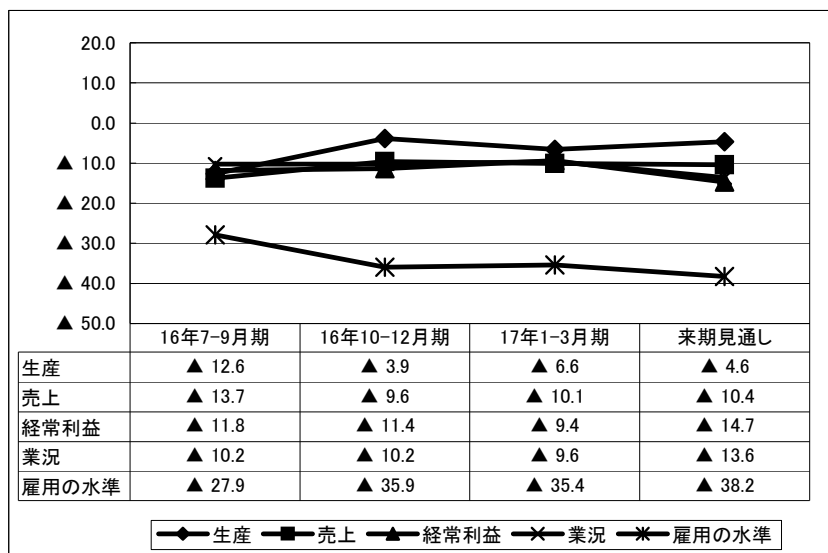
来期の見通しについては、生産 DI、売上 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「増加－減少」、経常利益 DI、業況 DI は 3 カ月後の前年同期と比較した「好転－悪化」、雇用の水準 DI は 3 カ月後水準の「過剰－不足」の軸を用いて算出。

- ④ 調査企業数

( ) の数字は大企業数

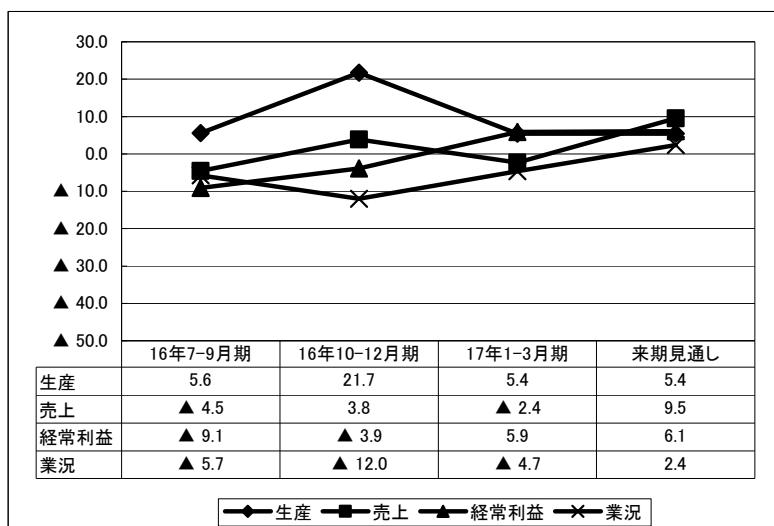
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	28(3)	18(1)	22(2)	10(5)	33(4)	111(15)
南部地域	60(10)	9(4)	20(4)	10(3)	36(7)	135(28)
甲賀地域	52(7)	10(0)	10(1)	6(1)	21(3)	99(12)
東近江地域	57(8)	8(1)	14(0)	8(1)	27(1)	114(11)
湖東地域	37(5)	6(1)	11(0)	6(0)	22(5)	82(11)
湖北地域	40(2)	10(0)	8(0)	6(1)	27(4)	91(7)
高島地域	20(2)	7(0)	6(1)	5(0)	10(2)	48(5)
合計	294(37)	68(7)	91(8)	51(11)	176(26)	680(89)
産業別比率	43.2%	10.0%	13.4%	7.5%	25.9%	100.0%

○全体

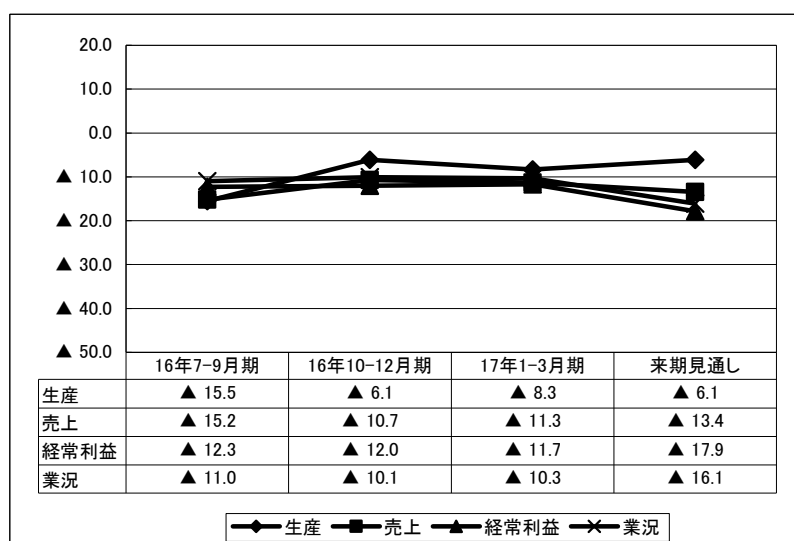


○規模別

大 企 業

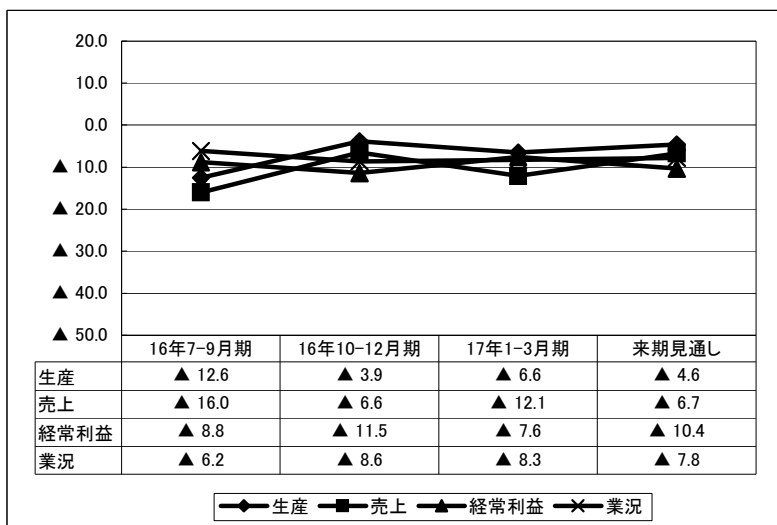


中 小 企 業

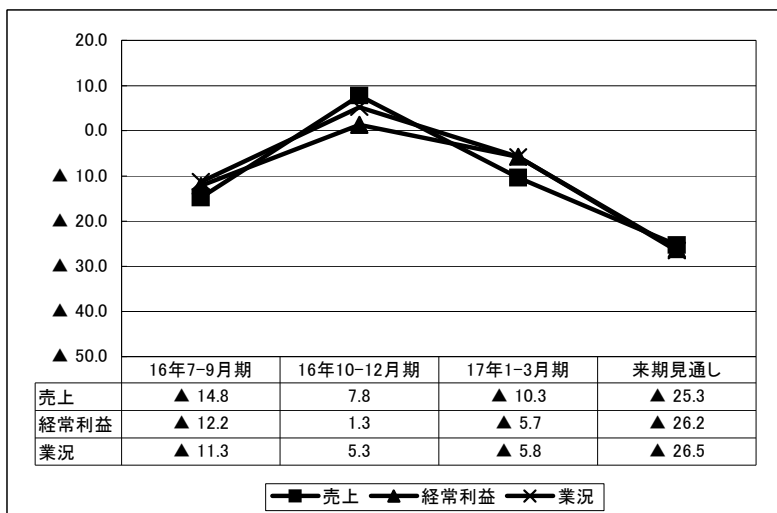


○業種別

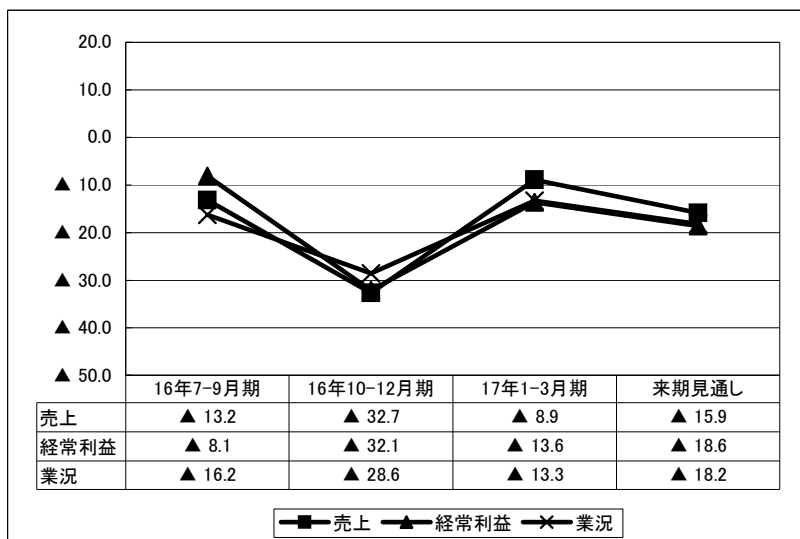
製 造 業



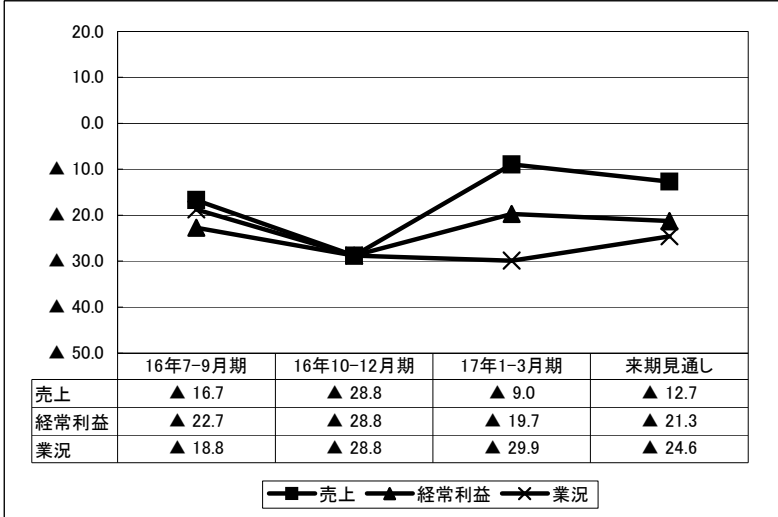
建 設 業



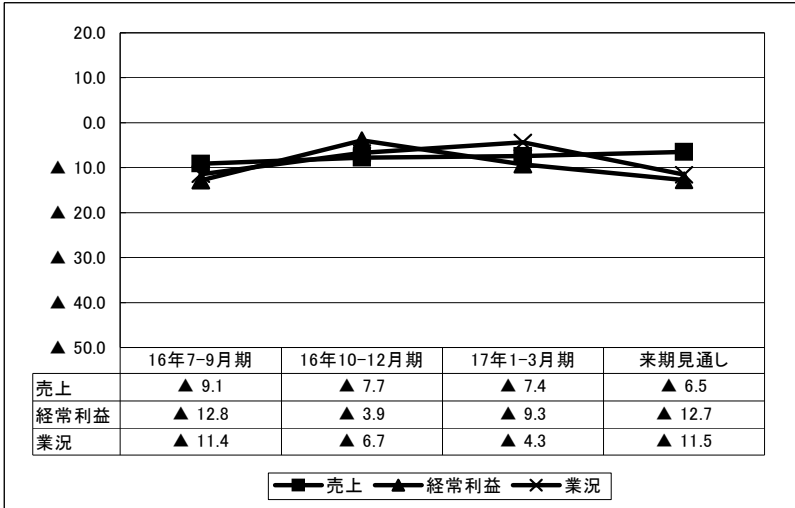
卸 売 業



小 売 業

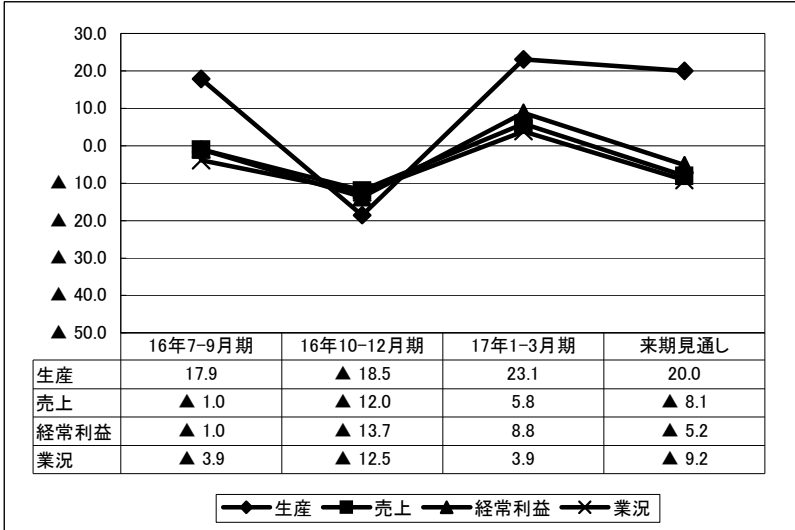


サ ー ビ ス 業

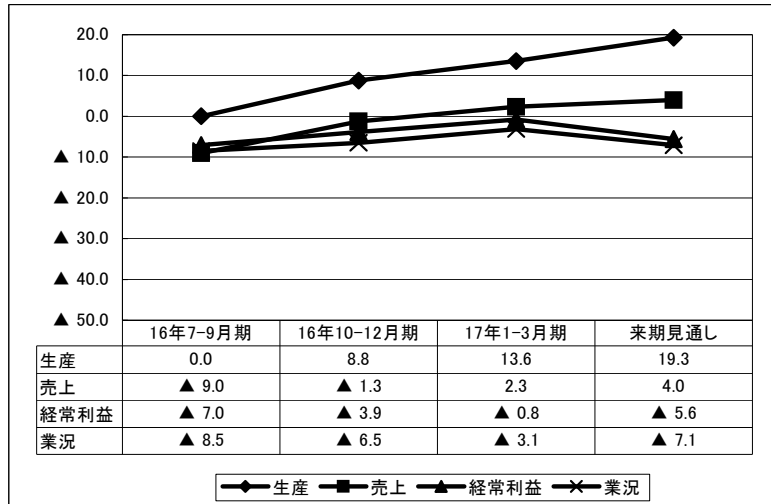


○地域別

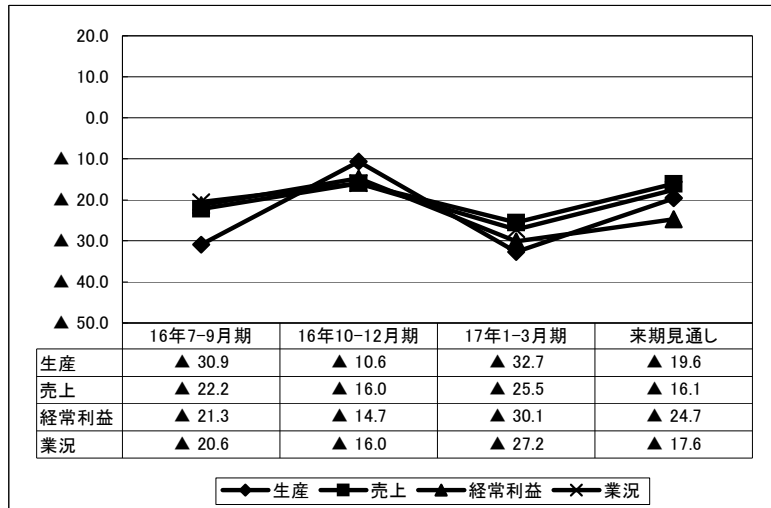
大 津 地 域



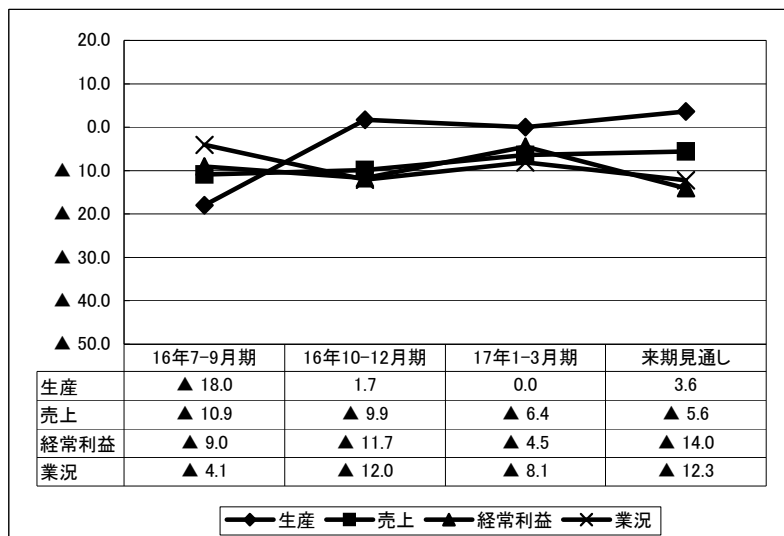
南部地域



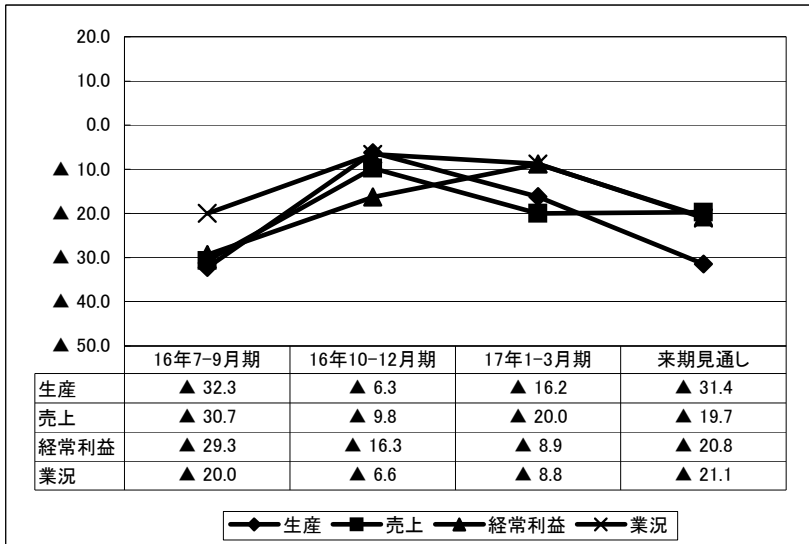
甲賀地域



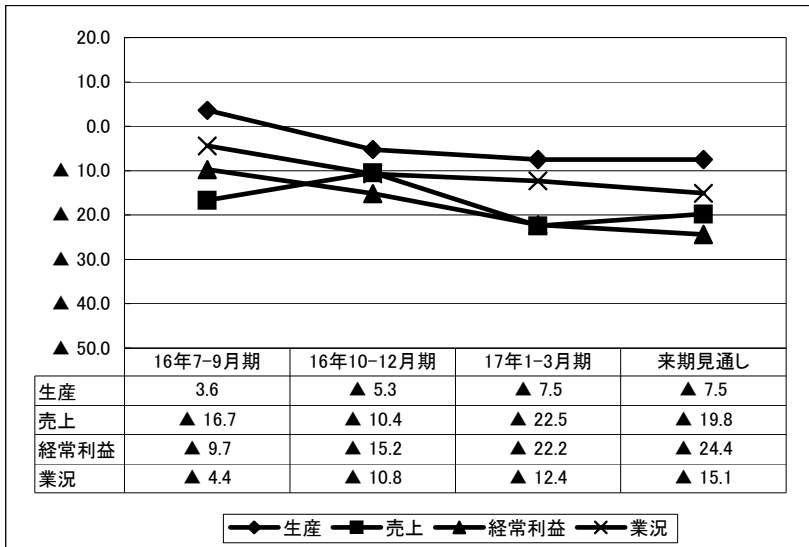
東近江地域



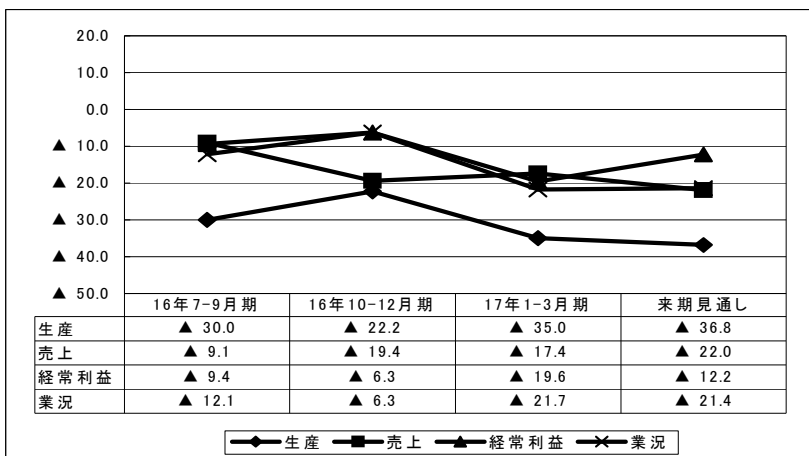
湖 東 地 域



湖 北 地 域



高 島 地 域



# ■ 景気調査

## 1 結果概要

(1) 全体の景気の水準DI : ▲44.6(マイナス幅が縮小した。)

- 〈調査客体別〉
- ・販売関連 DI : ▲48.8(マイナス幅が縮小した。)
  - ・サービス関連 DI : ▲48.0(マイナス幅が拡大した。)
  - ・雇用関連 DI : 22.2(プラスに転じた。)

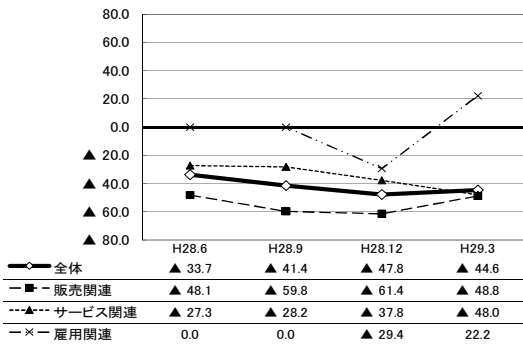
(2) 3 か月前と比較した全体の景気の方向性DI : ▲28.1(マイナス幅が縮小した。)

- 〈調査客体別〉
- ・販売関連 DI : ▲31.2(マイナス幅が縮小した。)
  - ・サービス関連 DI : ▲26.4(マイナス幅が拡大した。)
  - ・雇用関連 DI : ▲18.2(マイナス幅が縮小した。)

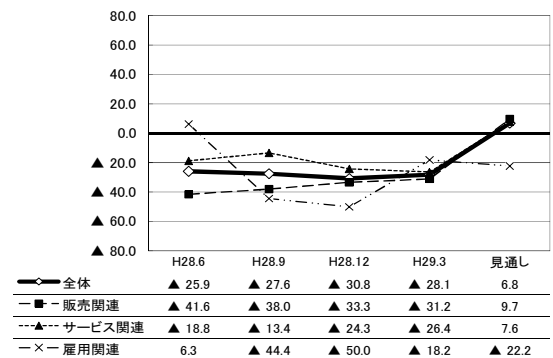
(3) 3 か月先の見通しに関する全体の景気の方向性DI : 6.8(プラスに転じる見通し。)

- 〈調査客体別〉
- ・販売関連 DI : 9.7(プラスに転じる見通し。)
  - ・サービス関連 DI : 7.6(プラスに転じる見通し。)
  - ・雇用関連 DI : ▲22.2 (マイナス幅が縮小する見通し。)

[景気の水準DI]



[景気の方向性DI]



## 2 調査概要

- ① 調査期間…… 平成 29 年 3 月 1 日を基準日とする前後 1 週間
- ② 調査客体…… 県内にある事業所に就業する者で、経済活動の動向を敏感に反応する現象を観察できる職種
  - 〈販売関連〉  
大型小売店、コンビニエンスストア、電気量販店、商店街などに就業する者
  - 〈サービス関連〉  
ホテル、旅館、旅行代理店、タクシー会社、カルチャー施設などに就業する者
  - 〈雇用関連〉  
公共的施設、人材派遣業に就業する者
- ③ 調査方法…… 郵送によるアンケート調査
- ④ 回収状況…… 109 件

### ※DI の算出方法

各評価毎の回答数に、それぞれ以下のウェイトを乗じた数値をもとに、各評価の構成割合を出し、好転(良い、やや良い)の割合から悪化(やや悪い、悪い)の割合を差し引いて、DIを算出しています。

評価	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い
	良くなっている	やや良くなっている	どちらとも言えない	やや悪くなっている	悪くなっている
ウェイト	3	2	1	2	3